

10款 教育費 1項 教育総務費

(単位:千円)

小学校35人学級体制整備事業(事務局総務費)					教務課
総 額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
8,208					8,208
<p>【施策の目的】 確実な学習習慣、生活習慣の定着、基礎的・基本的な学力の定着及び一人ひとりに応じた教育を充実するため、市独自の教員を配置し35人学級に取り組む。</p> <p>【施策の実施】 小学校2年生において取組み、三小小学校及びのぞみが丘小学校に1名ずつ配置した。</p> <p>【施策額の内訳】 少人数指導体制整備特別教員 (2名) 8,208千円</p> <p>【施策の効果】 35人学級を編成したことで、各学級における児童一人ひとりの学習や生活習慣の定着により細やかな対応ができた。</p>					
外国語指導助手配置事業(事務局総務費)					教務課
総 額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
13,997					13,997
<p>【施策の目的】 グローバル化が進展する中で、児童・生徒が他国の言語や文化に対する理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を養うため、ALTを小・中学校へ配置し、英語活動等の授業補助を行う。</p> <p>【施策の実施】 民間ALT4名により市内小・中学校の授業補助を実施。</p> <p>【施策額の内訳】 委託料 13,997千円</p> <p>【施策の効果】 ALTを配置することにより、児童・生徒の他国理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の向上に資することができた。</p>					
教育相談事業(教育相談推進費)					教務課
総 額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
4,539					4,539
<p>【施策の目的】 児童・生徒の不登校をはじめとする相談に対応するため、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置する。</p> <p>【施策の実施】 ・スクールカウンセラー 小郡市教育センターに配置し、必要に応じて学校へ派遣 ・スクールソーシャルワーカー 全小・中学校を2グループに分け、各担当校の要請に応じて対応</p> <p>【施策額の内訳】 ・スクールカウンセラー 808千円 ・スクールソーシャルワーカー 3,731千円</p> <p>【施策の効果】 スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置により、教育相談等に対し、丁寧な対応ができた。</p>					

コミュニティ・スクール調査研究事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
637	364				273

【施策の目的】

学校・家庭・地域が一体となり、協働して学校づくりを行う学校運営協議会について、組織・運営体制づくり及び具体的な取組の企画・推進・評価の調査研究を行う。

【施策の実施】

のぞみが丘小学校、三国小学校、三国中学校をコミュニティ・スクールとして指定し、学校・家庭・地域から委員を選出し、学校運営協議会を組織した。協議会の運営体制づくりや学校運営における学校・家庭・地域それぞれの役割について共通理解を図った。

【施策額の内訳】

(単位:千円)

項目	金額
報酬	384
旅費	20
消耗品費	139
印刷製本費	94
合計	637

【施策の効果】

- ① のぞみが丘小学校における学校運営協議会制度について、学校・家庭・地域と市の防災担当部局とが連携・協働し、学校防災についての研修や保護者への引き渡し訓練、災害時下校訓練などを実施することができた。また、今後の防災訓練の在り方についての課題を明らかにすることができた。
- ② 三国小学校の学校運営協議会制度において、学校・家庭・地域が協働・協力して取り組むことなどについて、計画・実施・評価・改善(R-PDCA)のマネジメントサイクルで年間を通して協議していくことができた。また、広報資料として「三国小学校安全・安心7つの約束(改訂版)」を全戸配布することができた。
- ③ 三国中学校の学校運営協議会制度において、電子機器ルール、自転車のルール、協議会とPTAとの連携、防災活動について学校・家庭・地域で協議を深めていくことができた。また、広報資料として、「三国小学校・のぞみが丘小学校・三国中学校 9年間の家庭学習」を各校のPTAに配布することができた。

学び場支援事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,299		1,478			8,821

【施策の目的】

生きいきとした子どもたちの姿を大切に、子どもたちの将来の進路保障につながる「生きる力」として、基礎学力と自学自習の力を身につけることを目的とする。

【施策の実施】

参加者(前・後期) 小郡小154名・御原小113名・味坂小83名・大原小34名・東野小39名・立石小30名
 三国小19名・のぞみが丘小83名
 小郡中104名・宝城中32名・大原中92名・立石中64名・三国中128名 合計 975名

開催日 小学校(BBクラブ)週2回
 中学校(チューター)学校により学校内にて週1~2回・考査前・長期休業中
 土曜チューター・市内施設にて土曜に実施

指導者 教職員18名・小学校(サポーター64名、コーディネーター9名)
 中学校チューター42名

【施策額の内訳】

内訳	金額(千円)	備考
協力者謝金	9,544	800円×6,866.5h、1000円×4,050.5h
消耗品	615	テキスト、用紙、インク等
役務費	126	事務局電話料、損害保険料
備品購入費	14	特注椅子
計	10,299	

【施策の効果】

関わる人たちの「学び場支援事業の意義」の理解が深まり、より厳しい子どもたちを迎え入れ、生きる力につながる学力を育てたいという動きが出て、それに向けて学校や家庭などの連携もできている。地域の人たちに見守られて安心して学習や活動に取り組む子どもたちの姿がみられ、子どもたち同士の関係も充実し、「仲間づくり」を基盤に学力・進路保障ができており、成果をあげている。

啓発冊子作成事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
748		337			411

【施策の目的】

人権問題に関する啓発冊子を作成し、閲覧することで、人権尊重の理念を普及し、理解を深めることを目的とする。

【施策の実施】

- ・啓発冊子「差別をなくすために」第39集(26,000部)を作成し、各家庭に配布
- ・「人権作文・標語・ポスター集」(700部)を作成
人権週間になんで、各保育園(所)、幼稚園、小中学校などから募集した作品を学校や地域での教材として活用

【施策額の内訳】

内訳	金額(千円)	備考
印刷製本費	673	差別をなくすために522千円 人権作文・標語・ポスター集151千円
報償費	75	啓発冊子デザイン・編集者謝金
計	748	

【施策の効果】

啓発冊子は、全世帯に配布することで、さまざまな人権問題について市民に啓発を行なうことができた。人権作文・標語・ポスター集については、学校や地域での研修会等で活用し、成果をあげている。

小郡市人権教育・啓発推進事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,988		811			1,177

【施策の目的】

小郡水平社創立90周年を部落差別をはじめとするあらゆる差別撤廃に向けた市民啓発の機会としてとらえ、「小郡市人権教育・啓発推進事業実行委員会」への運営費を負担する。

【施策の実施】

- ・記念式典 記念講演会
開催日時 2月6日(土)12:50~16:05
参加者数 852人
- ・記念冊子「小郡水平社創立90周年記念誌」

【施策額の内訳】

小郡市人権教育・啓発推進事業実行委員会負担金 1,987,669円

【施策の効果】

小郡水平社創立90周年記念集会並びに記念冊子をとおして、小郡市における解放運動と差別解消に向けた歩みを振り返り、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けた啓発を多くの市民に対して行うことができた。

同和問題市民講演会開催事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
415		153			262

【施策の目的】

市民を対象に講演会を開催し、同和問題をはじめとするあらゆる差別を解消することを目的とする。

【施策の実施】

開催日 7月11日(土)
 講師 鎌田慧さん(ルポライター)
 演題 「輝け人権！」～格差社会と差別～
 参加者数 525名

【施策額の内訳】

内訳	金額(千円)	備考
講師謝金	300	
協力者謝金	28	手話、要約筆記
需用費	87	ポスター・チラシ印刷
計	415	

【施策の効果】

ハンセン病の問題、冤罪、沖縄の米軍基地の課題、職業差別など、すべての差別根元は無関心であることをわかりやすく、自身の体験を絡めて講演してもらい、あらゆる差別について考えるきっかけとなった。

七夕人権考座開催事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
195		72			123

【施策の目的】

同和問題をはじめ「小郡市人権教育・啓発基本計画」にうたわれている7つの分野(同和問題・男女共同参画・子ども・高齢者・障害者・外国人・様々な差別)の講座を開催し、人権問題の解消を図ることを目的とする。

【施策の実施】

	開催日	内容	参加者数	備考
1	8月28日	「ほんとうはひとつのこと？私もあなたも『当事者』です。」	47名	
2	10月3日	「指導者に求められるスポーツ指導と人権」	77名	スポーツ振興課共催
3	10月23日	「子どもの人権について ～いじめ問題を中心に～」	49名	教務課共催
4	11月19日	「新聞記事からみるDV・デートDV」	60名	企画課共催
5	12月11日	「人権としての教育を保障する」	56名	
6	1月19日	「ぬくもりある人権のまちづくり ～身近に潜む差別の実態を乗り越えて～」	54名	
7	2月16日	「アウシュビッツをご存知ですか？」	45名	

【施策額の内訳】

内訳	金額(千円)	備考
講師謝金	105	
協力者謝金	38	手話奉仕員
需用費	52	消耗品費・食糧費
計	195	

【施策の効果】

平成27年度は、7回開催し合計388名の参加があり、あらゆる人権問題の解消を図るための市民啓発の広がりにつながっている。啓発冊子の内容に沿ったテーマを設定し、開催場所を固定せずに市内各所にて講座を行った。

保護者啓発事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
209		94			115

【施策の目的】

各幼稚園・小中学校の保護者に対する啓発を行い、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解消を図ることを目的とする。

【施策の実施】

平成27年度は、各幼稚園・小中学校において9回の人権・同和問題の保護者啓発が行われた。

【施策額の内訳】

講師謝金 209千円

【施策の効果】

同和問題や子どもの人権など様々な人権問題の講演等を行うことで、保護者への啓発につながった。

人権のまちづくり事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
197		38			159

【施策の目的】

各中学校区を単位として人権のまちづくり組織を立ち上げ、活動を展開し、人権が尊重される地域社会を実現することを目的とする。

【施策の実施】

各中学校区単位で、研修会、フォーラム、フェスタなどのイベントの開催及びたよりの発行など地域に合った取り組みが実施されている。

【施策額の内訳】

内訳	金額(千円)	備考
講師謝金	75	
協力者謝金	12	
需用費	110	消耗品106千円 食糧費4千円
計	197	

【施策の効果】

地域の中学校区を核にして、地域の様々な団体等が連携することにより、幅広い人権課題の解決の一役を担っている。また、合同で総会などを開催するなど他の団体の取り組みを知る機会を設けることで、啓発活動に活かしている。

10款 教育費 2項 小学校費

(単位:千円)

児童通学費補助事業(小学校一般管理費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
685					685

【施策の目的】

遠距離通学児童に対して、交通費の補助を行う。

【施策の実施】

西鉄電車 通学定期1区分分の補助 11か月分
 小郡小 対象者 3人 今朝丸地区(1年生～6年生)
 三国小 対象者 52人 津古区、みくにの団地区、三国が丘1区(1年生～3年生)

【施策額の内訳】

	対象人数	補助額
小郡小	3人	42千円
三国小	52人	643千円

【施策の効果】

遠距離通学児童の負担を軽減することができた。

市教育委員会研究指定委嘱校補助・小学校(教育振興総務費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
800					800

【施策の目的】

研究指定校
 (1)小郡小 H26～H27 (2)のぞみが丘小 H27～H28

【施策の実施】

(1)小郡小
 研究主題「自分の考えを伝え、高め合う国語科学習指導」
 ～確かな読みをつくる表現活動の工夫を通して～

(2)のぞみが丘小

研究主題「自ら健康をつくりだす子どもを育む食育」

～のぞみ食育プログラムをもとにした授業づくりを通して～

【施策額の内訳】

(1)小郡小(第2年次) 550千円

(2)のぞみが丘(第1年次) 250千円

【施策の効果】

各学校の課題について研究を行い、児童への学習指導方法の向上を図ることができた。

情報教育設備・機器整備事業・小学校(コンピュータ教育費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,913					13,913

【施策の目的】

授業及び校務において児童、教員がコンピュータやインターネットを活用できる環境を整備する。

【施策の実施】

パソコン教室、職員室、事務室等のパソコン機器の整備を行う。

【施策額の内訳】

児童用及び教職員用学校コンピュータリース料(12月) 11,740千円

教職員用パソコン運用等委託料 534千円

通信運搬費 1,639千円

【施策の効果】

平成27年度はパソコンの更新は無かったが、授業及び校務において児童・教員がコンピュータやインターネットを活用できる環境を管理した。

特別支援教育就学奨励費・小学校(特別支援教育費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,249	693				556

【施策の目的】

小学校の特別支援学級への就学事情に鑑み、その就学に係る保護者等の経済的負担を軽減する。

【施策の実施】

小学校対象児童数 40人

【施策額の内訳】

特別支援教育就学奨励費 1,249千円

【施策の効果】

特別支援学級に在籍する児童を抱える保護者の就学に係る経済的負担を軽減することができた。

就学援助・小学校(就学援助費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
37,380	46				37,334

【施策の目的】

経済的理由によって就学困難な児童に対し、必要な援助を与え義務教育の円滑な実施を図ることを目的とする。

【施策の実施】

小学校対象児童数 566人

【施策額の内訳】

入学準備金 1,535千円 医療費 1,035千円

学用品費 8,068千円 修学旅行費 1,737千円

給食費 24,978千円 校外活動費 27千円

計 37,380千円

【施策の効果】

経済的理由により就学困難な児童に対して、必要な援助をすることで、就学に係る経済的な負担を軽減することができた。

小郡小学校改修事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,490					15,490

【施策の目的】

体育館屋根防水の老朽化による雨漏りの改善のために、防水改修工事を実施するもの。

【施策の実施】

体育館アリーナ部塩ビシート防水 A=972.0㎡

体育館玄関部塩ビシート防水 A=125.0㎡

【施策の内訳】

工事費 15,490千円

【施策の効果】

改修により雨漏りの被害が無くなり、安全で快適な教育環境の確保ができた。また、施設の延命化も達成できた。

三国小学校改修事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,228					3,228

【施策の目的】

法面の土砂がグラウンドに流れ落ちるのを防ぐため、土留めを設置し法面の整備を行う。

【施策の実施】

土留め設置 L=64.29m 芝張り A=343.1㎡

【施策の内訳】

工事費 3,228千円

【施策の効果】

土留めの設置によって土砂の流出が無くなり、グラウンドの排水も改善され、快適な教育環境を整備することができた。

東野小学校改修事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
405					405

【施策の目的】

既設の合併浄化槽を廃止し、下水道接続を行う。

【施策の実施】

実施設計業務委託

【施策の内訳】

設計費 405千円

【施策の効果】

下水道接続工事に伴う実施設計を行い、平成28年度以降の工事に向けた準備ができた。

三国小学校校舎改築事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
32,123	11,965		15,100		5,058

【施設の目的】

住宅開発に伴う児童数増加や特別支援学級の増加等による普通教室不足を解消するために、老朽化している既存教材庫を解体し、普通教室2教室の建設を実施することにより教育環境の向上を図る。

【施策の実施】

(H27工事分)

既存プレハブ教材庫解体
 軽量鉄骨造平屋建校舎(普通教室2教室)建設
 上記工事に伴う工事監理業務

【施策の内訳】

解体工事費	2,148千円	校舎改築工事費	26,354千円	備品購入費	1,283千円
工事監理費	2,294千円	消耗品費	44千円		

【施策の効果】

2教室校舎を建設したことで教室数不足の解消及び教育環境の向上を図ることができた。

三国小学校校舎増築事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
127,537	55,101		59,100		13,336

【施設の目的】

住宅開発に伴う児童数増加に伴う普通教室や特別教室の不足等を解消する為に、教室5教室分の校舎増築工事を実施することにより教育環境の向上を図る。

【施策の実施】

鉄骨造2階校舎増築(教室5教室、便所、昇降口)
 増築工事に伴う実施設計・工事監理

【施策の内訳】

委託料	4,212千円	工事費	121,426千円
備品購入費	1,899千円		

【施策の効果】

5教室校舎を建設したことで、教室数不足の解消及び、教育環境の向上を図ることができた。

大原小学校大規模改造事業(繰越分)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
200,566	40,405		143,100		17,061

【施策の目的】

老朽化し使いづらくなった管理特別教室棟校舎の内外装、設備等をH27～28の2ヶ年で一体的に整備することにより、教育環境の改善を行う。

【施策の実施】

管理特別教室棟1～3階内外装全面改修(床・天井等改修、外壁改修等)
 外構工事(既存外構撤去及び駐車場拡張工事等)
 上記大規模改造工事に伴う工事監理業務

【施策の内訳】

監理費	2,733千円	工事費	195,382千円
備品購入費	1,985千円	消耗品費	466千円

【施策の効果】

管理特別教室棟校舎大規模改造の1ヶ年目にて職員室・校長室等の配置替えや内外装全面改修等を実施し、教育環境の向上を図ることができた。

小学校焼却炉撤去事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,606					3,606

【施策の目的】

使用しなくなり老朽化した焼却炉の撤去を行うもの。

【施策の実施】

小型焼却炉撤去 2基 (味坂小学校・立石小学校)

【施策の内訳】

工事費 2,672千円 設計費 934千円

【施策の効果】

焼却炉を撤去したことにより、安心して安全な教育環境を確保することができた。

10款 教育費 3項 中学校費

(単位:千円)

各種大会出場補助金・中学校(教育振興総務費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,060					6,060

【施策の目的】

中学校における体育・文化の振興と中学校生徒の健全な精神と身体の育成を図る。

【施策の実施】

小郡市・三井郡以外の地域で開催される市郡大会や地区大会以上の体育・文化の各種大会出場補助金。大会の出場登録人数と引率者の交通費等を補助する。

【施策額の内訳】

(1)地区大会	1,747千円	(4)全国大会	295千円
(2)県大会	957千円	(5)市郡大会(うきは市開催分)	1,270千円
(3)九州大会	394千円	(6)文化部大会	1,397千円

【施策の効果】

中学校における部活動の各種大会の交通費等を補助することで、部活動への意欲的な参加を促進するとともに、心身の育成を図ることができた。

情報教育設備・機器整備事業・中学校(コンピュータ教育費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,880					8,880

【施策の目的】

授業及び校務において生徒・教員がコンピュータやインターネットを活用できる環境を整備する。

【施策の実施】

パソコン教室、職員室及び事務室等のパソコン機器の整備を行う。

【施策額の内訳】

生徒用及び教職員用学校コンピュータリース料(12月)	7,495千円
システム設定等委託料	348千円
通信運搬費	1,037千円

【施策の効果】

平成27年度はパソコンの更新は無かったが、授業及び校務において児童・教員がコンピュータやインターネットを活用できる環境を管理した。

特別支援教育就学奨励費・中学校(特別支援教育費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
700	231				469

【施策の目的】

中学校の特別支援学級への就学事情に鑑み、その就学に係る保護者等の経済的負担を軽減する。

【施策の実施】

中学校対象生徒数 13人

【施策額の内訳】

特別支援教育就学奨励費 700千円

【施策の効果】

特別支援学級に在籍する生徒を抱える保護者の就学に係る経済的負担を軽減することができた。

就学援助・中学校(就学援助費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
33,541	12				33,529

【施策の目的】

経済的理由によって就学困難な生徒に対し、必要な援助を与え義務教育の円滑な実施を図ることを目的とする。

【施策の実施】

中学校対象生徒数 322人

【施策額の内訳】

入学準備金	2,072千円	医療費	489千円
学用品費	8,218千円	修学旅行費	5,457千円
給食費	17,155千円	校外活動費	150千円
計			33,541千円

【施策の効果】

経済的理由により就学困難な生徒に対して、必要な援助をすることで、就学に係る経済的な負担を軽減することができた。

宝城中学校改修事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,871					2,871

【施策の目的】

井戸水の水質悪化に伴う上水道への切り替えを行う。

【施策の実施】

プール用配管(水道管φ75)敷設 L=65.7m

【施策の内訳】

工事費 2,871千円

【施策の効果】

上水道への切り替えを行った結果、教育環境の向上を図ることができた。

大原中学校改修事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,735					9,735

【施策の目的】

通級教室に通う生徒の増加に対応するため、通級教室の隣りにある保健室を移設し、通級教室を増設する。また、体の不自由な生徒の移動を容易にするため、階段昇降機の改修工事を行う。

【施策の実施】

- ・通級教室改修工事
 - 普通教室を保健室に改修
 - 保健室を通級教室に改修
- ・階段昇降機改修工事
 - 既設階段昇降機撤去及び階段昇降機新設 1基

【施策の内訳】

・通級教室改修工事	
工事費	4,875千円
・階段昇降機改修工事	
設計業務委託料	486千円
工事費	4,374千円

【施策の効果】

通級教室を増設し、生徒の増加に対応した教育環境を整備することができた。また、階段昇降機を改修することにより、体の不自由な生徒に対応した教育環境を整備することができた。

小郡中学校改修事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
648					648

【施策の目的】

高架水槽及び架台が老朽化しているため、改修工事を行う。

【施策の実施】

高架水槽撤去・新設 鉄骨架台撤去・新設 高架水槽周り配管改修

【施策の内訳】

設計費 648千円

【施策の効果】

高架水槽改修工事に伴う実施設計を行い、平成28年度以降の工事に向けた準備ができた。

三国中学校改修事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,858					1,858

【施策の目的】

グラウンドの砂が飛散し、近隣住民の迷惑となっているため、グラウンド周囲に防砂ネットを設置する。

【施策の実施】

防砂ネット設置 H=4.0m L=185.05m

【施策の内訳】

工事費 1,858千円

【施策の効果】

防砂ネットの設置により、砂の飛散を軽減することができた。

中学校焼却炉撤去事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,859					3,859

【施策の目的】

使用しなくなり老朽化した焼却炉の撤去を行うもの。

【施策の実施】

小型焼却炉撤去 2基（大原中学校・立石中学校）

【施策の内訳】

工事費 2,925千円 設計費 934千円

【施策の効果】

焼却炉を撤去したことにより、安心して安全な教育環境を確保することができた。

10款 教育費 5項 幼稚園費

(単位:千円)

私立幼稚園就園奨励事業(私立幼稚園費)

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
75,481	20,248				55,233

【施策の目的】

授業料等の経済的負担が大きい家庭等を対象に、国の制度に則り補助金を交付し就園奨励を行う。

【施策の実施】

市民税の税額や子どもの人数等に応じて6段階に区分し補助
 <対象人数> 私立幼稚園 561人

【施策額の内訳】

私立幼稚園就園奨励費補助金 75,481千円

【施策の効果】

幼稚園に就園している子どもを持つ家庭に対して、所得状況や子どもの人数等に応じた補助を行うことで、経済的負担を軽減することができた。

三国幼稚園改修事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,825					1,825

【施策の目的】

老朽化している渡り廊下の改修を行う。

【施策の実施】

渡り廊下改修一式 面積38.25㎡

【施策の内訳】

改修工事 工事費 1,825千円

【施策の効果】

老朽化している渡り廊下を改修することにより、教育環境の改善及び安全性の確保を図ることができた。

10款 教育費 6項 社会教育費

(単位:千円)

地域活動指導員設置事業(社会教育総務費)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,700		6,822			1,878

【施策の目的】

県の補助事業により、地域活動指導員を配置して、地域の人権啓発活動の支援及び子どもたちの放課後や休日の遊び場・学び場の運営支援を行う。

【施策の実施】

人権のまちづくり、アンビシャス広場、学び場支援及び社会教育団体等の人権啓発業務に5人の地域活動指導員を配置し、地域活動のコーディネーター的役割を担った。

【施策額の内訳】

指導員報酬 8,700 千円

【施策の効果】

人権啓発活動、アンビシャス広場運営及び学び場等のサポートを行い、“まちづくり”の支援を行う地域に密着した活動員としての役割を担うことができた。

社会教育関連講座開設事業(各教育事業)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,977				1,677	1,300

【施策の目的】

個人のニーズや地域の課題に対応するため、市民に多様な学習の場を提供することにより、自主的な活動を推進し、かつ、人間形成の向上を図るもの。

【施策の実施及び施策額の内訳】

内 訳	報償費 (単位:円)	講座等回数(延べ) (単位:回)	参加者数(延べ) (単位:人)
家庭教育事業	746,800	53	770
成人教育事業	830,400	113	142
女性・青少年教育事業	800,300	48	443
高齢者等はつらつ教育事業	599,600	187	340
合 計	2,977,100	401	1,695

＊【参考】

小郡魅力化計画

- ・小郡市を「もっともっと魅力的で元気にする企画」を考え、その企画をどのようにまちづくりとしてかたちにするかを、講義及びグループワークを通して学ぶ体験型の講座。
- ・27年度は、福岡県地域活動実践型生涯学習事業として、市の財政は介さないが、実行委員会形式で実施したもの。
- ・開設期間:7月～2月
- ・受講生:38名

【施策の効果】

それぞれの対象に向け、様々な講座・研修会等を開設し、情報提供することができた。
また、社会参加の活動が増えることにより、地域住民相互の交流の場ともなっている。

成人式開催事業

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
702					702

【施策の目的】

これからの社会を担う新成人を祝福し、活力ある社会の創造に寄与する目的で事業を実施する。

【施策の実施】

- ・8月から新成人による実行委員会8回を開催して、全体式典と校区别交流会の企画・運営を行った。
- ・平成28年1月10日(日)に開催し、574人の新成人が参加した。

【施策額の内訳】

内訳	金額(円)
託児・支援者謝金	61,000
記念品、記念写真代	417,785
消耗品費	93,632
食糧費	111,000
委託料(駐車場整理)	19,008
合 計	702,425

【施策の効果】

卒業した中学校の当時の生徒会役員等が実行委員に当たることで、新成人の手による“成人式”を作り上げることができている。対象者は毎年新しくなるが、本方式が後輩に受け継がれており、今後も成人式の企画・運営についてはこの方法を継続していく。

新アンビシャス広場づくり事業

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
900		600			300

【施策の目的】

放課後や休日に、子どもたちが地域の中で有意義に過ごせる“居場所”として、平成19年度以降順次、新アンビシャス広場(第2期広場)が開設されている。
小中学校や校区公民館、地域の自治公民館を利用して、子どもたちが年齢の異なる人と交流を深め、相互ふれあいの中で、創造性、自主性及び社会性を身につける諸活動を行う。

【施策の実施】

新アンビシャス広場(第2期広場)の開設

- ・広場名:小郡いきいきアンビシャス広場、のぞみいきいきアンビシャス広場、宝城いきいきアンビシャス広場、大原いきいきアンビシャス広場、御原いきいきアンビシャス広場、東野いきいきアンビシャス広場の6広場
- ・参加子ども:述べ12,771人
- ・参加推進員・ボランティア:述べ2,487人

【施策額の内訳】

施策総額 900千円(150千円×6広場)
新アンビシャス広場づくり事業補助金 県費2/3(国庫から県へ1/3補助)

***【参考】**

第1期広場

- ・ 広場名：開・新町アンビシャス広場、寺福童アンビシャス広場、小坂井・大崎アンビシャス広場、小郡小アンビシャス広場、小坂井2アンビシャス広場、みくにつこアンビシャス広場、緑区アンビシャス広場、くろつちアンビシャス広場の8広場
- ・ 参加子ども：述べ10,239人 参加推進員・ボランティア：延べ1,930人
- ・ 補助金は、県補助金のみで、市の財政は介さないが、活動その他については、地域活動指導員・社会教育指導員が支援にあっている。

【施策の効果】

- ・ 学年を越えた子どもどうして遊びや体験活動を行うため、お互いを思いやる仲間の輪が広がっており、ボランティアスタッフとも良い信頼関係が作られている。
- ・ 地域(地元出身)の大学生や社会人が学習サポートを行ってくれており、自学自習の相談相手としての交流の場ともなっている。
- ・ 地域のお祭りやイベント等に参加したり、広場での魅力ある行事を企画して、地域の人々や伝統文化に触れる機会が作られている。

公民館関連補助金(公民館管理費)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,842				1,300	6,542

【施策の目的】

地域住民にとってもっとも身近なコミュニティ活動の場である自治公民館に対し助成することにより、地域の生活文化の振興と社会福祉の増進を図る。

【施策の実施及び施策額の内訳】

- ・ 自治公民館連絡協議会への補助金交付 5,437 千円
- ・ 自治公民館建設(改修)事業への補助金 1,105 千円

内訳	金額(円)	備考
井上公民館	800,000	壁等改修工事
大坂井2区公民館	305,240	トイレ改修工事
合計	1,105,240	

- ・ コミュニティ助成事業補助金(津古区放送設備) 1,300 千円

【施策の効果】

公民館長研修会の充実及び活動内容の幅が広がった。その結果、研修会に参加した館長の公民館活動への意欲が向上した。また、老朽化した公民館を改修することで公民館の利便性を強化した。

社会教育関連講座開設事業(各校区公民館管理費)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
576					576

【施策の目的】

社会教育事業推進のため、各校区公民館の講座・教室を開設する。

【施策の実施及び施策額の内訳】

内訳	報償費 (単位:円)	講座等回数(延べ) (単位:回)	受講者数(延べ) (単位:人)
味坂校区公民館	91,600	35	469
御原校区公民館	89,600	56	907
立石校区公民館	89,200	51	826
三国校区公民館	55,600	59	942
のぞみがおか生楽館	83,900	64	1,314
小郡交流センター	77,200	47	720
東野校区公民館	89,100	85	1,221
合計	576,200	397	6,399

【施策の効果】

市民の学習意欲の向上及び高齢者の生きがいづくりの場となっている。
また、講座を通して様々な人が交流することでコミュニティ形成の場にもなっている。

三国校区公民館駐車場拡張事業(三国校区公民館管理費)					生涯学習課
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,509					11,509
【施策の目的】					
三国校区公民館は公民館機能のほかにサービスセンター業務も行っており、以前から駐車場が不足していた。そうした駐車場不足を解消するため、三国校区公民館に隣接する南側用地を駐車場として拡張するもの。					
【施策の実施及び施策額の内訳】					
駐車場用地の買収 11,509,300円(1,046.3㎡)					
【施策の効果】					
駐車場拡張のための用地の確保ができた。					
大原校区公民館建設事業					生涯学習課
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
20,581	11,694				8,887
【施策の目的】					
地域住民の連帯感を高め、住みよい地域社会づくりの推進に資するため、地域に密着したコミュニティ活動の拠点施設としての校区公民館を機能させていく必要がある。このため、大原小学校グラウンド敷地内に、大原校区公民館を建設する。					
【施策の実施及び施策額の内訳】					
内訳		金額(円)			
建築確認申請手数料		130,000			
実施設計監理業務委託		6,520,000			
測量業務委託		410,565			
遊具等移設工事		5,174,280			
用地買収費		7,667,372			
補償費		679,000			
合計		20,581,217			
【施策の効果】					
大原校区公民館建設工事に伴う実施設計を行い、本体工事に向けて準備が完了した。また、建設予定地から、遊具等の移設工事を行い、3月からの本体工事を行うことができている。					
文化関連補助金(文化振興費)					生涯学習課
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,010					8,010
【施策の目的】					
地域における各文化関係団体等の自主的活動の促進を支援し、地域社会の文化活動向上を図るための助成を行う。					
【施策の実施】					
・各文化団体とも活動の活性化を図るため、公演・展示活動の充実を図った。					
6/27	安武玄晃コンサート		文化会館大ホール	入場者数	560人
7/5	飛び出して音楽祭「きょうれき七夕イベント」		九州歴史資料館	入場者数	200人
7/12	飛び出して音楽祭「マララ・デー トーク&コンサート」		文化会館小ホール	入場者数	120人
7/15	前川 清ショー		文化会館大ホール	入場者数	632人
9/26	宝くじ文化公演「打打打団天鼓コンサート」		文化会館大ホール	入場者数	465人
11/7・8	第26回小郡市民文化祭 (出演者 734人 展示数 339点)		文化会館及び 生涯学習センター	入場者数	2,406人
11/14	大型人形劇「三国志」		文化会館大ホール	入場者数	320人
11/15	飛び出して音楽祭「イザベラ・ア・カペラ コンサート」		文化会館大ホール	入場者数	350人
12/19・20	小郡音楽祭制作市民ミュージカル「ONE! ～世界を変える少女～」		文化会館大ホール	入場者数	1,210人
1/23・24	小郡名画座		文化会館大ホール	入場者数	372人
2/14	ハーモニーinおごおり「声の祭典」		文化会館大ホール	入場者数	1,700人
・小郡市古賀区こども囲碁教室全国大会出場への補助を行った。					

【施策額の内訳】

内訳	金額(千円)
文化協会育成費補助金	500
市民文化祭補助金	1,050
小郡音楽祭補助金	1,600
自主文化事業補助金	4,800
文化団体等各種大会出場補助金	60
合計	8,010

【施策の効果】

文化活動を行っている各団体への支援を行う事により、文化の薫り高い地域づくりに貢献できた。

文化会館改修事業(文化会館管理費)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,258					3,258

【施策の目的】

文化会館の老朽化により、時代に対応した設備更新を年次的に進めることで、安心・安全・快適な文化施設づくりを促進する。

【施策の実施及び施策額の内訳】

内訳	金額(円)
ヤマハグランドピアノオーバーホール	857,250
避難誘導灯取替	469,800
非常用発電機始動用直流電源装置改修	378,000
調光装置操作卓保全整備修理	367,200
屋外時計修繕	181,440
案内掲示板取替	317,952
床修繕	178,254
その他修繕	507,824
合計	3,257,720

【施策の効果】

古くなった機材等の改修や、施設修繕を実施し、市民のニーズに合わせた施設整備ができた。

ブックスタート事業(図書館管理費)

図書館

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,023					1,023

【施策の目的】

幼児期の早い時期に本(絵本)と出会う機会を提供して、絵本を通じたスキンシップで親子のきずなを深めるとともに、家庭での読書環境づくりを支援していく。

【施策の実施】

- ・ 生後10ヶ月の乳幼児健診時にスタッフが事業説明と読み聞かせの大切さを説明して、ブックスタートパック(布バッグ・小冊子)と記念品(選定絵本2冊・絵本リスト)を手渡す。
- ・ H27年度 10ヶ月健康診査受診者 418組

【施策額の内訳】

ブックスタートパックと記念品代(絵本代) 911千円
 ブックスタート説明補助員賃金 112千円

【施策の効果】

- ・ 乳幼児を同伴した親子の図書館利用が増えてきている。
- ・ 本事業が、家庭での絵本の読み聞かせをする“きっかけづくり”になり、家読(うちどく)推進の基礎になっている。
- ・ 単なる絵本の配付ではなく、絵本の読み聞かせを通して親子のふれあいや家庭教育の大切さを伝えられている。

野田宇太郎文学資料館事業(図書館管理費)					図書館
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
509					509
【施策の目的】 資料のデータ化と保存処理を完了させ、市民の貴重な財産として活用・公開を目指す。また、常設展示や企画展示を充実させて、野田宇太郎氏の功績を内外にPRしていく。					
【施策の実施】 企画展「平成27年度企画展「野田宇太郎の美術散歩」(展示期間:11月21日(土)~2月7(日))を開催した。					
【施策額の内訳】 展示パネル作成設置及びポスターチラシ印刷委託料 509千円					
【施策の効果】 企画展の実施により、野田宇太郎氏の功績を紹介・PRすることができた。					

「子ども読書」の街づくり推進事業					図書館
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,844		62			1,782
【施策の目的】 子どもに読書の魅力を伝え、読書意欲を向上させることを目的とし、学校・地域・家庭が一体となって子どもたちの読書活動を支えていくこととする。					
【施策の実施】 <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども読書の日」記念事業として、絵本に出てくるメニューを給食に1品加える「ものがたりレシピ」給食を市内小中学校で実施。併せて、チラシ「ものがたりレシピをいただきます」を配布した。また、小郡小学校の2年生全クラスで絵本の読み聞かせを行った。 ・家読推進のためにモデル校(小郡小学校・小郡幼稚園・大崎保育所)を設定し、家庭での読書記録をつける「うちどくダイアリー」を児童・園児に配付した。 ・家読講演会を全体で3回、モデル校の小郡幼稚園で1回開催した。 ・読書好きの子どもを増やす「本はともだちプロジェクト」により、小中学校で行った読書活動を外部の専門家等に評価してもらい「いきいき読書活動コンクール」と「本のPOP講座」を開催した。 ・家読に勧める本を紹介したリーフレットを作成し、幼稚園・保育所・小中学校・図書館・公民館等で配布を行った。 ・中学校における読書活動の充実を図るため、中学生を対象にした読書活動サポーター養成講座を開催した。 					
【施策額の内訳】 講師謝金等 1,371千円 印刷製本費等 473千円					
【施策の効果】 <ul style="list-style-type: none"> ・家読講演会にも多数の参加者があり、参加者に「読書の楽しさ」や「読書が子どもの成長によい」ことを分かっていただいた。 ・「本のPOP講座」は本に親しむきっかけづくりになっており、さらに読書好きの子どもが増えるよう継続していく。 					

文化財関係団体育成(文化財保護費)					文化財課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,228					11,228
【施策の目的】 市内の文化財保護を進めるため、その保護に関わる文化財関係団体に対し、その活動を助成し、育成することを目的とするほか、文化財整備の情報収集のため、全国及び九州地区の文化財保存協議会への参加をする。また、市内文化財の管理のため、NPO法人との協働事業を実施する。					
【施策の実施】 各文化財保護団体の文化財保護活動に対して補助金を交付し、各種協議会に負担金を支払った。また、NPO法人に市内遺跡の管理委託を行い適正・有効な活動の指導・助言及び協働事業を行った。					

【施策の内訳】

・補助金	
1. 郷土史研究会	76千円
2. 福童将軍藤保存会	510千円
3. 高卒都婆保存会	61千円
4. 名馬池月の塚保存会	38千円
5. 今隈区天忍穂耳神社境内大クス保存会	910千円
6. 文化遺産再発見事業補助金	713千円
7. 小郡市大刀洗町地域文化観光実行委員会	100千円
合計	2,408千円

・協議会等負担金

1. 全国史跡協議会負担金	40千円
2. 九州文化財保存整備協議会負担金	10千円
3. 福岡県市町村文化財保存整備協議会負担金	20千円
合計	70千円

・委託料

NPO法人小郡市の歴史を守る会	8,750千円
-----------------	---------

【施策の効果】

文化財保護団体には、年間を通して通常の文化財の保護に協力を得られ、文化財の管理と啓発活動を協働して進めることができた。

文化財発掘調査・重要遺跡調査事業

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,521	4,366	321		33	11,801

【施策の目的】

市内の埋蔵文化財を保護するために開発に対する事前審査を行い、遺跡に影響が及ぶ開発について発掘調査を実施する。

【施策の実施】

・ 窓口(電話対応を含む)における開発に対する文化財の指導	年間約500件
・ 書面による事前審査対応件数	138件
・ 試掘を行った件数	48件
・ 重要遺跡確認調査及び報告書作成を行った遺跡	10件
・ 公共事業に関する発掘調査を行った件数	2件

【施策の内訳】

<7目 文化財発掘調査費>

・事前審査(試掘調査を含む)	4,177千円
・重要遺跡発掘調査	8,757千円

対象遺跡名

- 1) 津古内畑遺跡 (再整理)
- 2) 小郡若山遺跡 (個人住宅)
- 3) 小郡官衙遺跡 (重要遺跡)
- 4) 乙隈遺跡2 (個人住宅)
- 5) 前沢遺跡 (個人住宅)
- 6) 大保西小路遺跡4・5 (個人住宅)
- 7) 大保西小路遺跡7 (個人住宅)
- 8) 小郡若山遺跡8 (個人住宅)
- 9) 福童町遺跡13 (個人住宅)
- 10) 花立山古墳群 (重要遺跡)

・公共事業関係発掘調査

1) 三国小学校遺跡5発掘調査	1,287千円
2) 干潟猿山遺跡2(干潟第2工業団地発掘調査)	2,300千円

【施策の効果】

個人住宅建設、公共事業など、開発に先立つ埋蔵文化財調査に迅速に対応することができた。

文化財発掘受託調査事業					文化財課
総 額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
12,469				12,467	2
【施策の目的】 民間開発業者が行う開発に際し、事前に文化財発掘調査を実施し、記録保存を行う。					
【施策の実施】					
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度までに調査を終了し、出土遺物の整理・報告書作成を行った遺跡 6遺跡 ・民間の開発により緊急発掘調査を実施した遺跡 2遺跡 					
【施策の内訳】					
<ul style="list-style-type: none"> ＜8目 文化財発掘受託調査費＞ <ul style="list-style-type: none"> ・三沢古賀遺跡4 2,260 千円 ・小郡前伏遺跡4 3,413 千円 ・大保西小路遺跡3 450 千円 ・大板井遺跡29 1,758 千円 ・福童町遺跡12 948 千円 ・大保西小路遺跡6 718 千円 <hr style="border: 0.5px solid black;"/> 計 9,547 千円 					
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急調査 2,922 千円 <ul style="list-style-type: none"> 内訳 <ul style="list-style-type: none"> 1) 大崎小園遺跡4 283 千円 2) 横隈上ノ原上遺跡2 905 千円 文化財保護基金(現埋蔵文化財調査基金)積立金 1,734 千円 					
※ その他一般財源として文化財保護基金積立金の利息2,034円を含む					
【施策の効果】 開発に先立つ埋蔵文化財の事前調査と、記録および出土資料の整理を円滑に行うことができた。					
史跡等総合活用支援推進事業					文化財課
総 額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
5,059	2,520			18	2,521
【施策の目的】 埋蔵文化財発掘調査によって出土した文化財を適正に保管・管理し、その公開・活用を行うことで生涯学習・学校教育に資することを目的とする。					
【施策の実施】					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験学習等開催事業 <ul style="list-style-type: none"> ① 体験学習講座 土笛、勾玉、須恵器等を作る講座を計9回実施(参加者241名) ② 考古学講座 筑後川流域の考古学をテーマに、全3回実施 ③ 特別展示会 『～開館30周年企画～歴史を未来へ』を埋文センター展示室で展示し、記念講演会(参加者57名)を実施した。 ④ 小郡官衙遺跡公園活用 地元校区と協働で小郡官衙遺跡を含む史跡散策・古代体験を企画した。当日は雨天のため、小学校体育館でのイベントとなった。 ・ 広報資料作成事業 小郡官衙遺跡マップ(小学生用)及び小郡官衙遺跡リーフレットを作成した。 ・ 台帳作成等事業 出土資料データ整理 国指定史跡小郡官衙遺跡群上岩田遺跡出土資料の台帳化及びデータ化に着手した。なお、全部の整理終了後にはホームページで公開する予定である。 					
【施策の内訳】					
<ul style="list-style-type: none"> 施策総額 5,059千円 (補助率は雇用保険の個人負担分を除き国庫1/2) 内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習等開催事業 745 千円 ・広報資料作成事業 827 千円 ・台帳作成等事業 3,487 千円 					

【施策の効果】

体験学習等開催事業では、参加者が定着しつつあり、市民の郷土に対する関心が高まっている。広報資料作成は、今後の文化財保護に結びつくことが期待される。台帳作成では、基本的な資料化を進め外部機関や市民の見学・利用への対応がスムーズになった。

伝承等文化資源調査活用事業

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,381				5	1,376

【施策の目的】

本市の伝承や方言などについての聞き取り調査を進めていくことを中心に、調査・記録・保存・整備を継続的にを行い、その特長を活かした地域活性化につなげていくことを目的とした。

【施策の実施】

伝承についての聞き取りを中心に、民具や石造物の調査・記録及び民俗学講座・講演会・報告会を開催し、さらには25年度に作成した「小郡百人一首」の解説書であるパンフレットを作成・配布した。

【施策の内訳】

事業費の内訳	金額
・賃金(整理作業員)	1,098 千円
・保険料	18 千円
・報償費	89 千円
・旅費	12 千円
・消耗品費(インクジェット・紙類など)	34 千円
・印刷製本費(報告書印刷・製作)	130 千円
計	1,381 千円

【施策の効果】

市内に残る伝承が文化資源として再認識され、市民の認識や関心が高まった。さらに、聞き取りによる高齢者の自尊心の高まりや「小郡百人一首」をデイ・サービスにおける回想法的活用することによって、高齢者ケアの分野で新たな可能性が認められた。

市内古建築整備事業

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
24,197	12,390		8,200	2,662	945

【施策の目的】

市指定有形文化財油屋を江戸時代建築当初の姿に復原するため、解体調査を実施する。また、松崎資料館を有効活用するため改修を実施する。

【施策の実施】

平成27年度解体・調査、平成28～30年度に復原を予定。建物の歴史的価値を損なわないために、設計監理は専門的知識を有する法人に業務委託し、解体・調査も資格を有する企業に業務委託して実施した。

【施策の内訳】

市内古建築整備事業は、社会資本整備総合交付金を活用し、残りの一部を地方債とする。また、松崎宿油屋保存整備基金を一部取り崩し、補助対象外の松崎資料館の改修や備品などを購入した。

内訳

設計監理委託料	8,100 千円
調査設計監理業務委託料	125 千円
油屋解体・調査業務委託料	13,435 千円
修繕料	130 千円
松崎資料館改修工事	2,149 千円
消耗品費	33 千円
備品購入費	225 千円
合計	24,197 千円

【施策の効果】

平成26年度に終了した中油屋の保存と活用を促進するため、油屋復原にとりかかり、平成27年度は解体調査が実施できた。また、三原家土蔵(松崎資料館)を寄贈され、その有効活用を図るために資料館内の改修を実施し、見学者の増加につながった。

古建築技術者人材育成事業【福岡県緊急雇用創出事業】					文化財課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,965		7,965			
【施策の目的】 今後需要が見込まれる古建築の修復・復原・活用などの施工・設計・監理が一体的にできる技術者を育成するため、緊急雇用創出事業の地域づくり事業を活用して、設計会社にその研修と育成を委託する。					
【施策の実施】 ・古建築技術者人材育成を行うことのできる設計会社に事業を委託した。 ・受託した事業者は、古建築技術者を雇用して市内古建築の保存と活用を行った。					
【施策の内訳】 ・委託料 7,965 千円					
【施策の効果】 古建築は、地域の歴史的文化的価値を後世に伝えるだけでなく、観光の核になるものとして注目されている。そうした古建築の価値を失わずに復原する技術者を市で養成することは、今後の古建築の保存と活用の道を開くものとなった。					

10款 教育費 7項 保健体育費

(単位:千円)

スポーツ振興事業費補助金					スポーツ振興課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,621				127	3,494
【施策の目的】 各種団体等のスポーツ活動に助成を行うことで、体力向上や団体育成を図ることを目的とする。					
【施策額の内訳】 (1) 体育協会補助金 2,200千円 (2) 全国・西日本・九州大会出場補助金 402千円 (3) 小郡市スポーツ推進事業交付金 490千円 (4) プール利用補助金 金額 529千円 (鳥栖利用者負担額 271千円) 久留米市民流水プール、鳥栖市民プール利用補助 利用者数3,015名 (内訳:久留米市 1,292名・鳥栖市 1,723名)					
【施策の効果】 各スポーツ団体の育成並びに全国大会等へ出場する際の負担軽減に繋がった。また、プール利用の補助をすることにより、水難事故防止と体力向上が図られた。					

スポーツ行事開催事業					スポーツ振興課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,962					4,962
【施策の目的】 スポーツは、爽快感・達成感・連帯感や楽しさ・喜びをもたらし、また、体力の向上、精神的なストレス発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進に資するものであり、この事業の推進により、青少年の健全育成、地域の連帯感の醸成、更には、市民生活をより豊かに明るく活気に満ちた地域社会の形成へと導く。					
【施策の実施事業】 (1) 第47回公民館対抗バレーボール大会 4月19日(日) 市体育館・大原中学校校体育館 参加公民館 15公民館(200人) (2) 第22回小郡ジュニアスポーツフェスティバル 4月26日(日) 市野球場他 参加者数 750人					

- (3)第38回フェスティバル小郡市民スポーツ大会
テニス、ソフトテニス、ママさんバレーボール、バドミントン、卓球、グラウンドゴルフ、ソフトボール
5月10日(日)～10月18日(日) 市体育館他 参加者数 のべ1,402人
- (4)第14回スポーツ・レクリエーション大会
ソフトバレーボール、ラージボール卓球、室内ペタンク、スポンジテニス、ターゲットバードゴルフ
9月12日(土)、13日(日) 市体育館・陸上競技場 参加者数 のべ188人
- (5)第21回市民ふれあい運動会
10月11日(日) 市陸上競技場 参加者数 3,500人
- (6)第61回成人祭祝賀駅伝大会
1月10日(日) 小郡運動公園及び市内 参加者数 738人
- (7)小郡運動公園体育事業実行委員会実施事業(3者主催)
6月6日(土) 2015ウエスタン・リーグ公式戦(福岡ソフトバンクホークスVS中日ドラゴンズ) 市野球場 観客動員数 4,233人
- 9月5日(土) ライジング福岡によるバスケットボールクリニック 市体育館 5チーム(59人)
- 11月15日(日) グリーンパークみんなであそぼう! 2015inおごおり 市陸上競技場 親子37組(77人)
- 12月20日(日) 福岡ソフトバンクホークスによる野球教室 市野球場 13チーム(145人)
- 12月23日(祝) 福岡ソフトバンクホークス帆足和幸福選手によるふれあい教室 市野球場 14チーム(139人)
- 3月20日(日) 2016サガン鳥栖サッカー教室inおごおり 市陸上競技場 5チーム(85人)

【施策額の内訳】

○報償費	1,277千円
○需要費	792千円
○委託料	293千円
○負担金、補助金及び交付金	2,600千円

【施策の効果】

市民の体力の向上、精神的なストレス発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進を図ることができた。また、スポーツ活動への参加をとおして、青少年の健全育成および地域の連帯感の醸成につながった。

クロスロードスポーツレクリエーション運営費

スポーツ振興課

総 額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
603					603

【施策の目的】

久留米・鳥栖・基山・小郡の住民がスポーツを通じた交流を図ること及び市民の健康増進と体力向上を図ることを目的とする。

【施策の実施事業】

第25回クロスロード・スポーツレクリエーション祭
11月8日(日) 小郡市体育館 他
小郡市参加者数 109人 他市町参加者数 353人

【施策の効果】

ラージボール卓球、ソフトバレーボール、室内ペタンク、スポンジテニス、ターゲットバードゴルフの5種目のスポーツを楽しみ、4市町の交流を図ることができた。また、今回もオープン競技として、アジャタの競技普及を図るとともに、健康増進と体力向上に寄与することができた。

小郡市体育館バスケットゴール改修工事 スポーツ振興課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,268					2,268

【施策の目的】
市体育館バスケットゴールが老朽化しており、可動式バスケットゴールの設置工事を行うことにより、施設の安全性確保及び利用者の利便性向上を目的とする。

【施策の実施】
バスケットゴール改修工事 2,268千円
・可動式バスケットゴール2基

【施策の効果】
老朽化したバスケットゴールの更新により利用者の安全性が確保され、かつ、上下可動式ゴールであるため児童生徒も利用でき利便性が向上した。

スポーツトラクター(グラウンド整備トラクター)購入事業 スポーツ振興課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,791					4,791

【施策の目的】
小郡市野球場で使用しているスポーツトラクターが、20年以上経過し老朽化により使用が困難になっているため、新たなスポーツトラクターを購入することを目的とする。

【施策の実施】
スポーツトラクター購入 4,791千円

【施策の効果】
スポーツトラクターを購入したことにより、計画通りの作業を行うことができ、かつ、作業効率の向上が図られた。

小郡市陸上競技場2種公認改修事業 スポーツ振興課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,437				4,800	2,637

【施策の目的】
陸上競技場における必要備品等を購入し、2種公認の継続を得ることを目的とする。

【施策の実施】
◆小郡市陸上競技場備品購入 7,430千円
・購入備品
円盤・ハンマー投用囲い

◆手数料及び負担金 7千円
・2種公認検定に係る手数料及び検定員派遣費用負担金

【施策の効果】
小郡市陸上競技場2種公認を継続することができた。

学校給食配給事業(学校給食センター管理費) 学校給食課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
83,982					83,982

【施策の目的】
生涯を通じて健康に過ごすための食生活について理解を深め、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上のため、栄養のバランスがとれた食事を提供する。また、郷土料理や地場産野菜を使用するなどの工夫を図り、「安全・安心」で美味しい学校給食の提供に努める。

【施策の実施】
・市立小学校5校(児童数3,087名)、中学校5校(生徒数1,902名)、総数4,989名に対し、年間給食日数小学校188日、中学校190日、総給食数(職員含む)101万食の配給を行った。

【施策額の内訳】

・当該年度においては、中学校調理室屋根の改修及び食品衛生管理に適した機械、真空冷却機の購入、熱源であるボイラーの交換また、衛生管理等に適応した調理器具などの購入を行った。

賃金	臨時調理員	16,278 千円
委託料	施設保守及び給食運搬等	15,989 千円
需用費	衛生消毒用品、電気、ガス、水道代他、調理器具等修繕	24,907 千円
	調理室屋根改修工事	3,402 千円
備品購入費	真空冷却器、ボイラー、公用車等の購入	21,819 千円
役務費	食品検査料及び検便検査料及び通信費等	1,199 千円
共済費	臨時職員労災保険料	107 千円
その他	負担金、補助金等	281 千円
合 計		83,982 千円

【施策の効果】

食中毒の防止を含め、衛生管理を厳守し事故等起こさず「安全・安心」な学校給食の配食が出来た。また、地元野菜を使用する取組みを充実させ、学校、地域及び家庭との連携を図り、給食をとおして、食育の啓発及び促進事業を実施した。

大原小学校給食施設整備事業 学校給食課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,700					4,700

【施策の目的】

大原小学校給食施設建設の為に設計を行い自校式給食施設の着工を進め、「安心・安全」でおいしい給食の提供に努める。

【施策の実施】

設計委託

【施策額の内訳】

委託料 4,700 千円

【施策の効果】

既存三校の自校式給食施設を基準に衛生管理の行き届いた「安全・安心」な学校給食を提供出来る給食調理施設の設計ができた。

学校給食配給事業(味坂小学校給食施設管理費) 学校給食課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,833					1,833

【施策の目的】

生涯を通じて健康に過ごすための食生活について理解を深め、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上のため、栄養のバランスがとれた食事を提供する。また、郷土料理や地場産野菜を使用するなどの工夫を図り、「安全・安心」で美味しい学校給食の提供に努める。

【施策の実施】

- ・味坂小学校の児童数148名に対し、年間給食日数190日、総給食数約3.2万食の配給を行った。
- ・安全で衛生的な給食を適時配給するため、食品および施設の衛生管理を徹底し事故なく完了する。

【施策額の内訳】

需用費	衛生消毒用品、電気、ガス、水道代、修繕料他消耗	1,446 千円
委託料	殺鼠害虫駆除委託	23 千円
備品購入費	ガス炊飯器	289 千円
その他	手数料(細菌検査)負担金等	75 千円
合 計		1,833 千円

【施策の効果】

食中毒の防止を含め衛生管理を厳守し事故等起こさず「安全・安心」な学校給食提供ができた。また、「宝満の市」との連携によって、地産地消の促進も軌道に乗り、自校方式の利点を活かした給食の提供を行った。

学校給食配給事業(立石小学校給食施設管理費)					学校給食課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,546					2,546
【施策の目的】					
生涯を通じて健康に過ごすための食生活について理解を深め、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上のため、栄養のバランスがとれた食事を提供する。また、郷土料理や地場産野菜を使用するなどの工夫を図り、「安全・安心」で美味しい学校給食の提供に努める。					
【施策の実施】					
<ul style="list-style-type: none"> 立石小学校の児童数158名に対し、年間給食日数190日、総給食数3.4万食の配給を行った。 安全で衛生的な給食を適時配給するため、食品および施設の衛生管理を徹底し事故なく完了する。 					
【施策額の内訳】					
需用費	衛生消毒用品、電気、ガス、水道代、修繕料他消		1,348	千円	
賃 金	臨時調理員		1,113	千円	
委託料	殺鼠害虫駆除委託		23	千円	
その他	手数料(細菌検査)		62	千円	
	合 計		2,546	千円	
【施策の効果】					
食中毒の防止を含め、衛生管理を厳守し事故等起こさず、「安全・安心」な学校給食提供ができた。また、地元農産物生産団体「アグリ」「宝満の市」との連携によって、地産地消の促進も軌道に乗り、自校方式の利点を活かした給食の提供を行った。					
学校給食配給事業(御原小学校給食施設管理費)					学校給食課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,080					2,080
【施策の目的】					
生涯を通じて健康に過ごすための食生活について理解を深め、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上のため、栄養のバランスがとれた食事を提供する。また、郷土料理や地場産野菜を使用するなどの工夫を図り、「安全・安心」で美味しい学校給食の提供に努める。					
【施策の実施】					
<ul style="list-style-type: none"> 御原小学校の児童数118名に対し、年間給食日数190日、総給食数(職員含む) 2.6万食の配給を行った。 安全で衛生的な給食を適時配給するため、食品および施設の衛生管理を徹底し事故なく完了する。 					
【施策額の内訳】					
需用費	衛生消毒用品、電気、ガス、上水道、下水道代、修繕料他消耗品		2,011	千円	
委託料	殺鼠害虫駆除委託		23	千円	
その他	手数料(細菌検査)負担金等		46	千円	
	合 計		2,080	千円	
【施策の効果】					
食中毒の防止を含め、衛生管理を厳守し事故等起こさず、「安全・安心」な学校給食提供ができた。また、「宝満の市」との連携によって、地産地消の促進も軌道に乗り、自校方式の利点を生かした給食の提供を行った。					